

コロナ禍でのペットのオンライン診療についての意識調査（飼い主様向け）

【アンケート調査概要】

調査対象：全国のペットの飼育者

調査期間：2020年9月07日～9月18日

調査方法：インターネット調査

回答者数：500名

目次

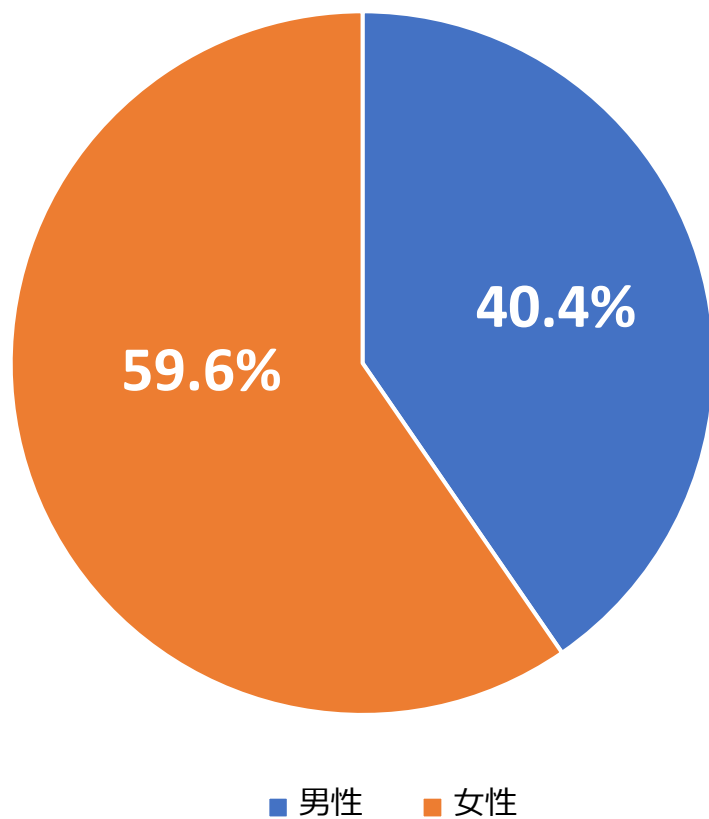
- ・ 調査概要 P.03
- ・ 飼い主様属性 P.04-05
- ・ アンケート各設問結果 P.06-11
- ・ 免責事項 P.12

調査概要

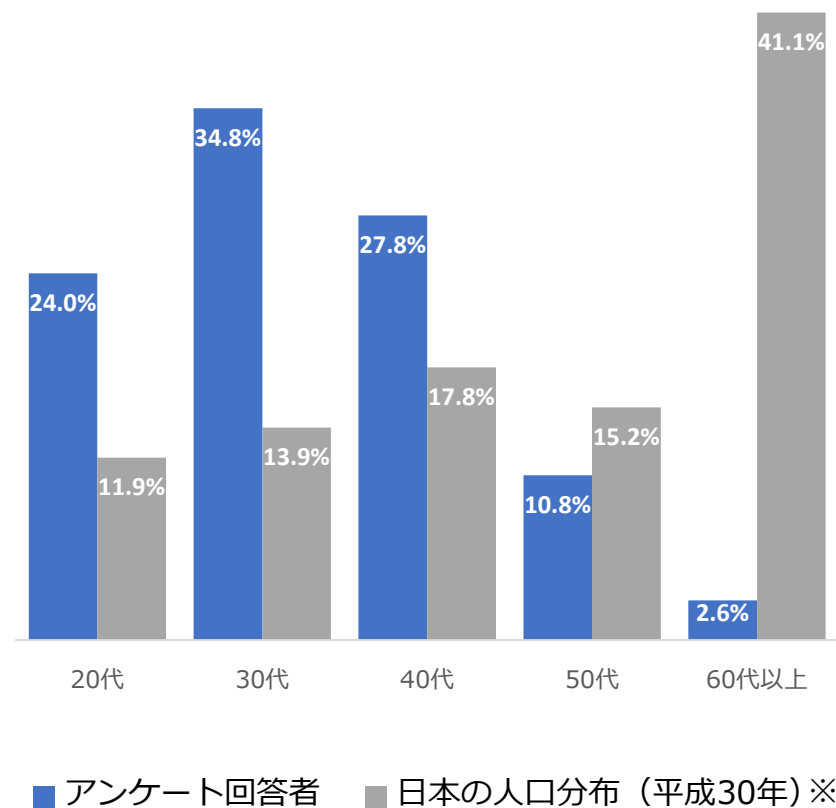
分析軸	結果要約
飼い主様を取り巻く環境	<ul style="list-style-type: none">・全国のペットの飼育者500名に2020年9月7日～18日にアンケートを実施。・来院をためらう理由は、「費用」が最も多いが、「新型コロナウイルス感染症が気になる」も24.6%と約4人に1人がコロナを理由に来院をためらっている。・ペットのオンライン診療の認知率は8.2%と低い・ペットのオンライン診療に期待することは、「通院のストレスの解消」が最も多い。また、「新型コロナウイルス対策としての院内感染の防止」も約4割の方が期待している。・全体で約7割の方が、ペットのオンライン診療を「利用したい」、「どちらかという利用したい」と回答。 世代別でも60代以上以外は同様の傾向が見られる。
オンライン診療を利用したい方の意識	<ul style="list-style-type: none">・ペットのオンライン診療を「利用したい」、「どちらかという利用したい」と回答した347名に追加で質問。・皮膚科、行動診療科、予防診療科などが、比較的オンライン診療で受けてみたい診療科として挙げられた。逆に、腎・泌尿器科、呼吸器科、循環器科、腫瘍科は不安のある科として挙げられた。全体としてオンライン診療において、「受けてみたい診療科」と「不安のある診療科」は負の相関関係の傾向がある。・全体の7割以上の方が、オンライン診療を利用する場合、「予約、ビデオ通話、決済がすべて1つできる専用のシステムまたはアプリ」を使用したいと回答。

飼い主様属性

性別 (n=500)



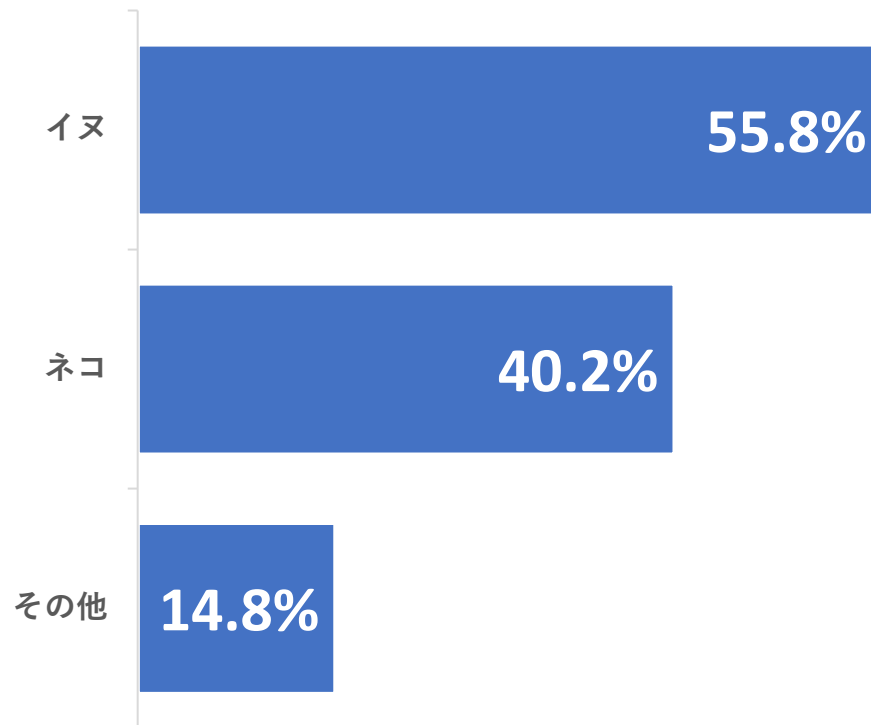
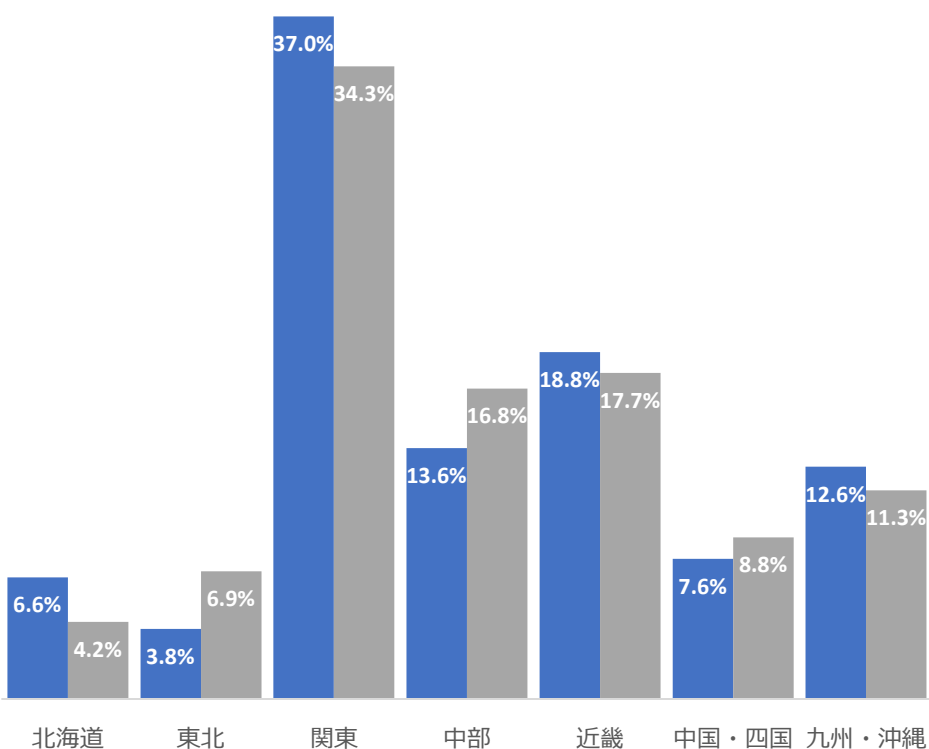
年齢層分布 (n=500)



飼い主様属性

地域偏在性 (n=500)

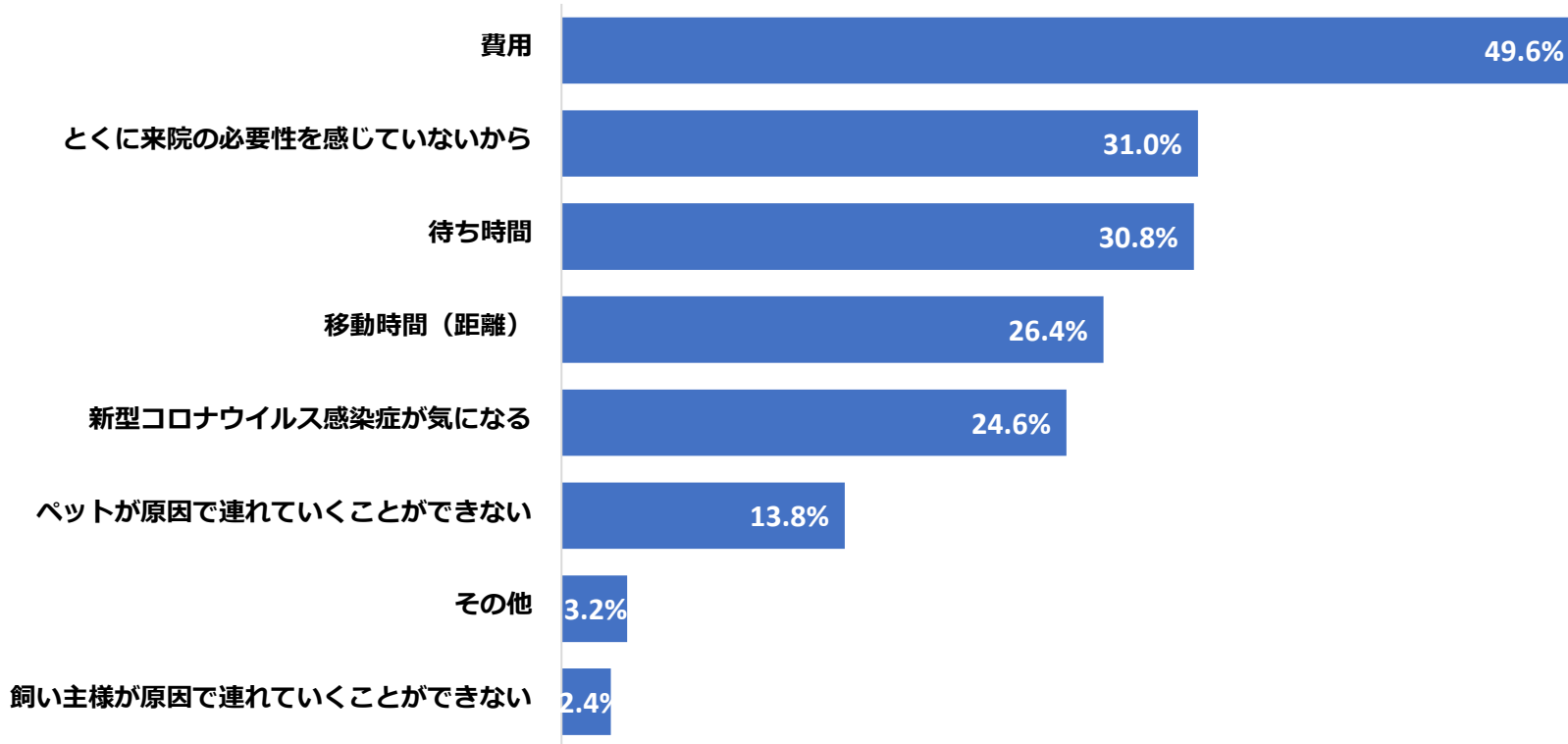
飼育動物構成 (n=500 複数選択)



■ アンケート回答者 ■ 日本の人口分布 (平成30年) ※

普段、動物病院に行くのをためらう理由は何がありますか？

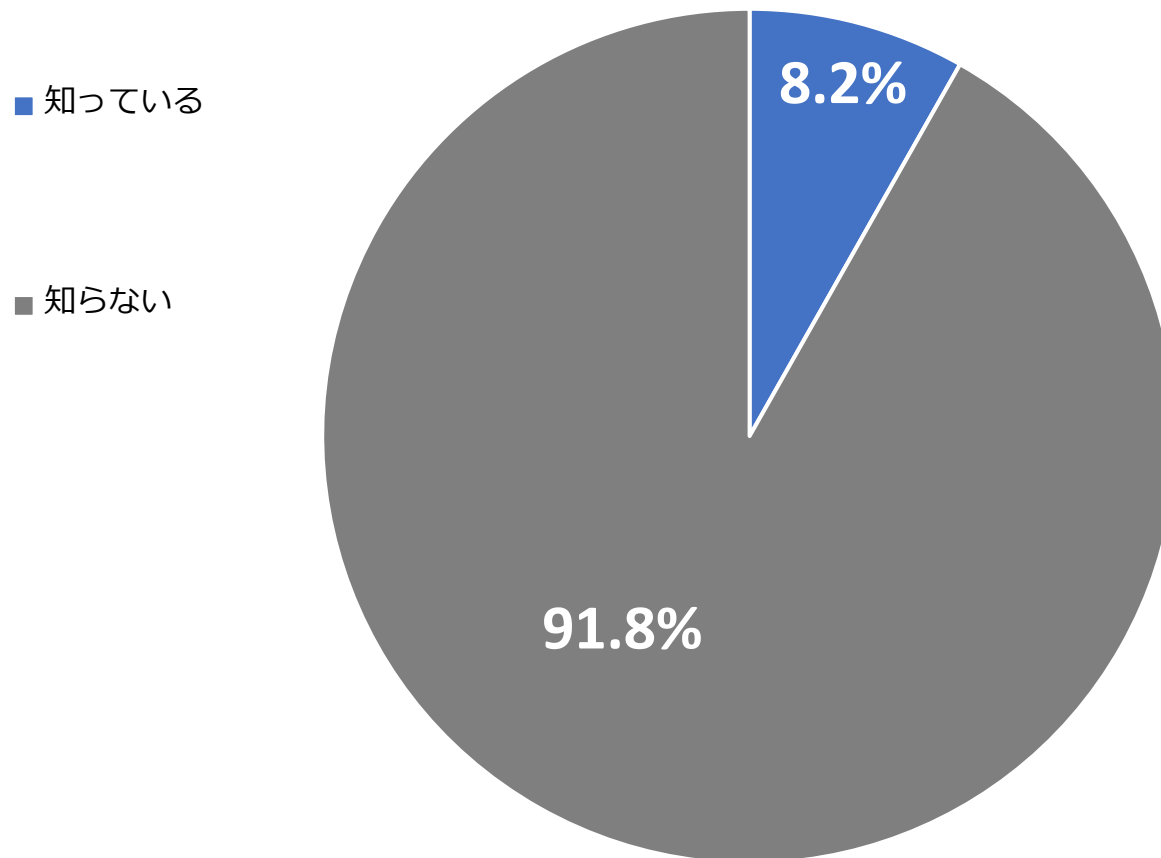
(n=500 複数選択)



来院をためらう理由は、「費用」が最も多いが、「新型コロナウイルス感染症が気になる」も24.6%と約4人に1人の方が、コロナを理由に来院をためらっている。

ペットのオンライン診療を知っていますか？

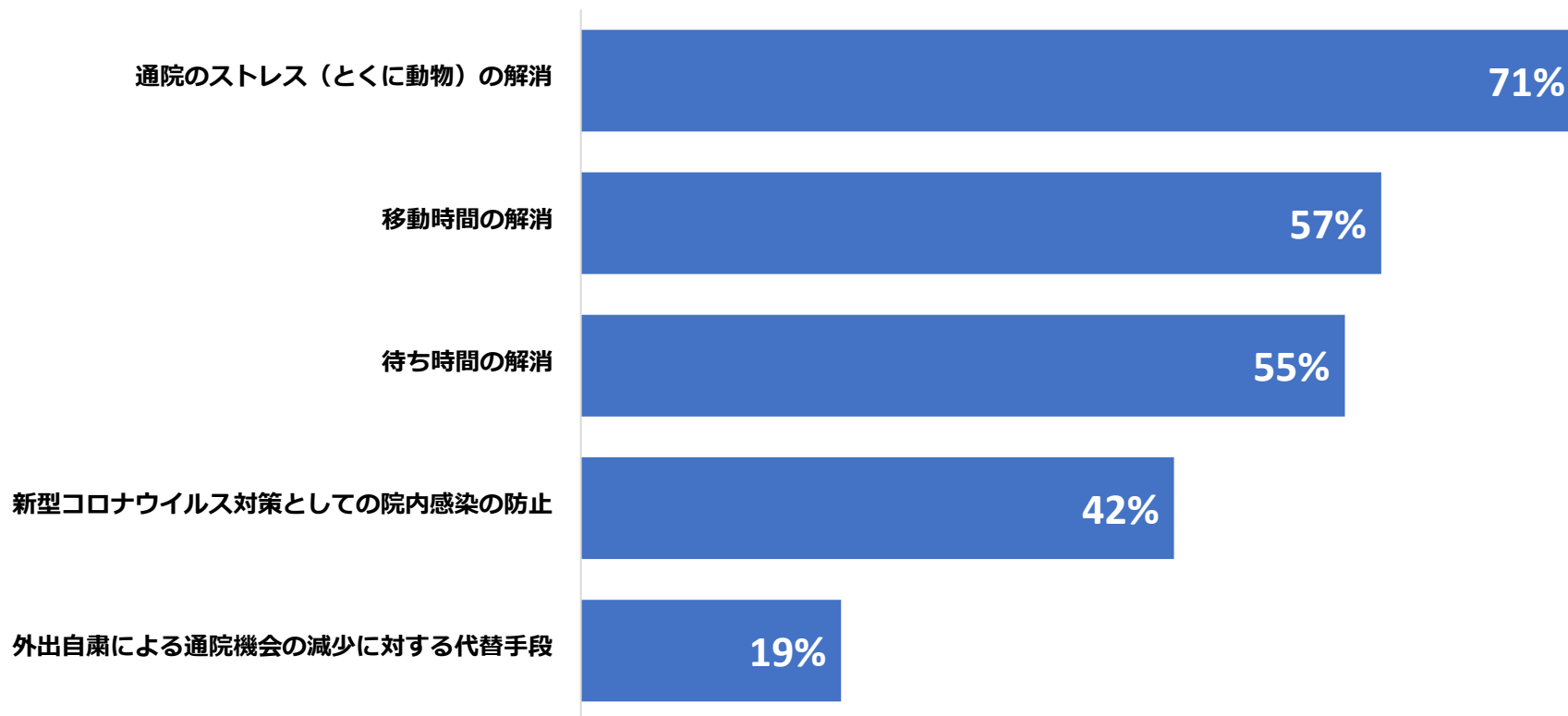
(n=500)



ペットのオンライン診療の認知率は8.2%と低い

ペットのオンライン診療に期待することは何がありますか？

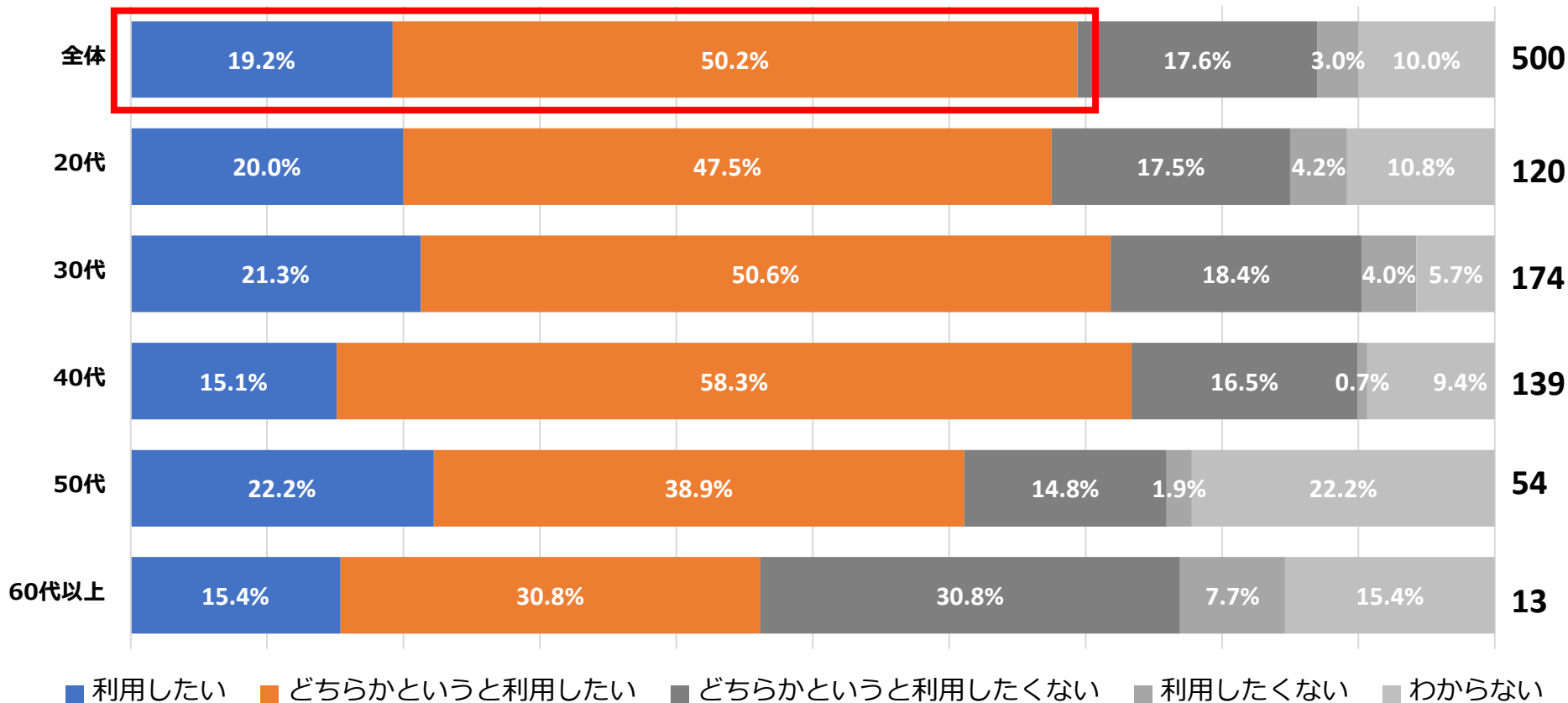
(n=500 複数選択)



ペットのオンライン診療に期待することは、「通院のストレスの解消」が最も多い。また、「新型コロナウイルス対策としての院内感染の防止」も約4割の方が期待している。

ペットのオンライン診療を利用してみたいですか？（年代別）

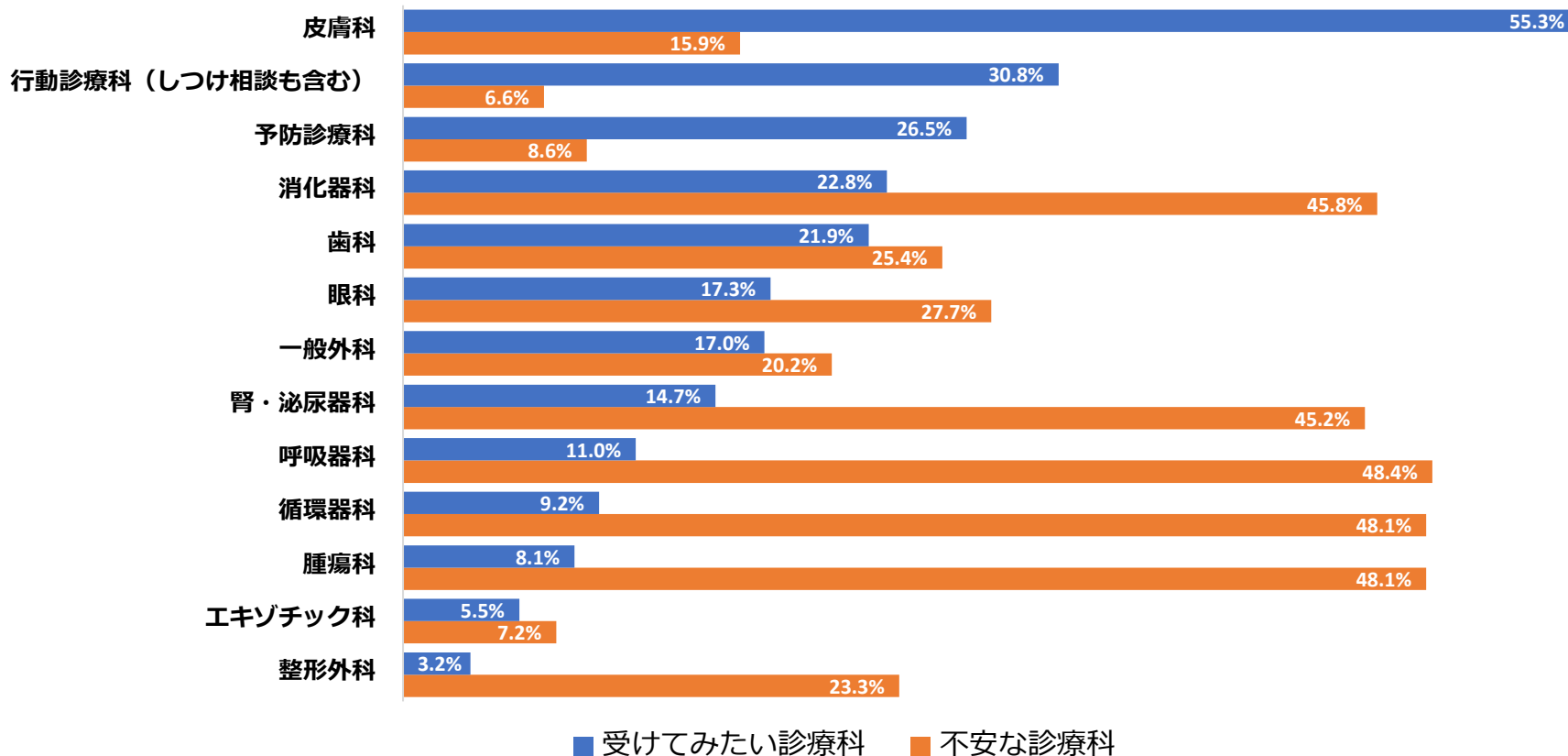
(n=500)



全体で約7割の方が、ペットのオンライン診療を「利用したい」、「どちらかという利用したい」と回答。世代別でも60代以上以外は同様の傾向が見られる。

どのような診療科でオンライン診療を受けてみたいですか？ ペットのオンライン診療で不安な診療科はありますか？

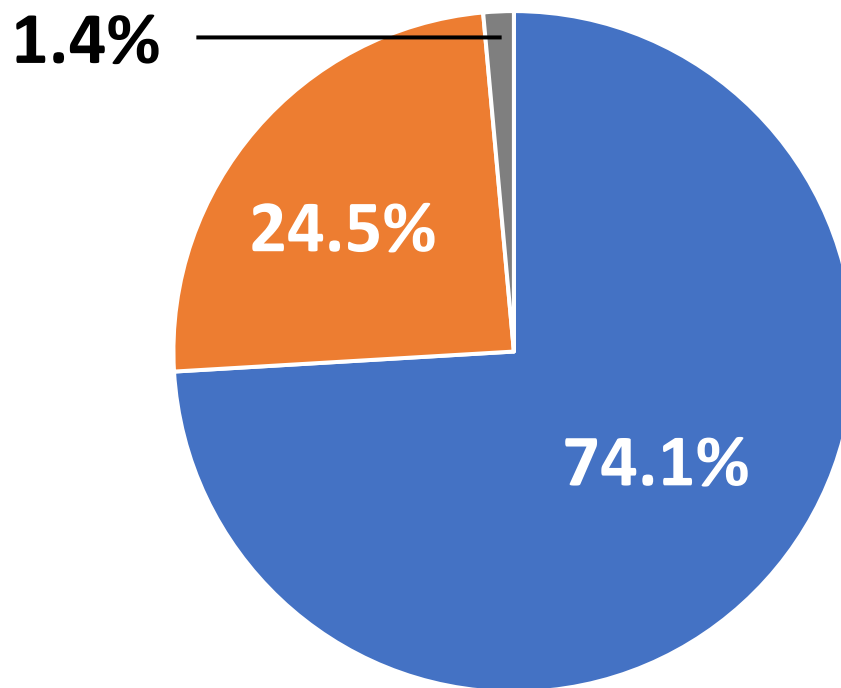
ペットのオンライン診療を「利用したい」、「どちらかという利用したい」と回答された方
(n=347 複数回答)



皮膚科、行動診療科、予防診療科などが、比較的、オンライン診療で受けてみたい診療科として挙げられた。逆に、腎・泌尿器科、呼吸器科、循環器科、腫瘍科は不安のある科として挙げられた。全体として、「受けてみたい診療科」と「不安な診療科」は負の相関関係の傾向がある。

ペットのオンライン診療を利用するならどのようなシステムがいいですか？

ペットのオンライン診療を「利用したい」、「どちらかという利用したい」と回答された方
(n=347)



- 予約、ビデオ通話、決済がすべて1つできる専用のシステムまたはアプリ
- LINEなど普段使っているビデオ通話システムに加えて、予約と決済を別々で行うもの
- その他

全体の7割以上の方が、オンライン診療を利用する場合、「予約、ビデオ通話、決済がすべて1つできる専用のシステムまたはアプリ」を使用したいと回答。

免責事項

- ・本資料に記載されている内容の著作権はすべて株式会社みるペットに帰属します。
- ・当法人に無断で転載、複製等を行うことはできません。
- ・本資料は、関連する法令や学術的見解を基に、本資料作成時点における一般的な解釈等について述べたものであり、本資料により専門的アドバイスまたはサービスを提供するものではありません。
- ・本資料の利用は、自らの責任において行っていただく必要があります。また、実際の適用にあたっては、事前に必ず個別事情に鑑みた調整・検討を行う必要があります。
- ・当社は、利用者が被った損失について一切責任を負わないものとします。
- ・本資料について、当法人の事前の承諾なくインターネットに掲載する等の行為もお控えください。また、本資料の背景事情や前提を知り得ない第三者が、そのようなインターネット上の掲載に基づき誤った判断をする等の懸念もあるため、発見した場合は必要に応じ、掲載の差し止めを含む必要な措置をとらせていただく場合があります。
- ・本資料は株式会社みるペットとしての見解を示すものではありません。



「みる」にはいろいろな意味があります。「見る」、「診る」、「看る」・・・私たちは、動物たちの健康を見守りたい。動物病院と患者様の架け橋となり、診察や看病をサポートする会社でありたい。そんな想いを込めました。ロゴデザインは、動物が獣医療者・飼い主様と手を取り合っている様を表し、3者の協力の重要性を表現しています。

「動物と家族、そして健康を守る動物病院の想いを一つに」という理念のもと、私たちみるペットは、動物と飼い主様が健やかな生活を長く送ることができるように、より良い予防・医療サービスを受けることができる環境作りを目的として、動物医療業界の効率化と利便性の向上を目指します。

2019年11月、当社のオンライン相談・診療システム“みるペット”は、公益財団法人東京都中小企業振興公社の事業可能性評価 評価事業となり、さらなるサービス開発に努めてまいります。

ペットのオンライン相談・診療について、もっと詳しくお知りになりたい方は、当社ブログもご参照ください。<https://blog.mirpet.co.jp/>